



## 平成22年度これからの 催し物のご案内

## ミュージアムさくら塾 参加をお待ちしています。

展示館開館20周年にちなんだ「秦野の民俗講座」と秦野とつながりが深い「米倉丹後守についての歴史講座」を開催します。

場 所 桜土手古墳展示館

定 員 70名(先着順)事前申込みが必要です。

<第5時限目> 1月22日(土) 10:00~正午

演題 『秦野の民俗「一人前と年祝い」』

講師：國學院大學文学部 小川直之氏

20年になぞらえて「成人・二十歳」の意味を、還暦や喜寿を交えて民俗学の見地から分かりやすくお話いただきます。

<第6時限目> 3月5日(土) 13:30~15:30

演題 「米倉丹後守について」

講師：駒澤大学文学部 久保田昌希氏

戸川に位置する蔵林寺の横手に米倉一族のお墓があります。その米倉丹後守についてお話いただきます。



専修大学教授 土生田純之氏  
第3時限目の講義風景



## ミュージアムさくら塾 課外授業 今年もやります。

ミュージアムさくら塾の課外授業として秦野市の職員が、先人が築いてきたわが町の長い歴史と文化について、日々の研究成果をお話します。

場 所 桜土手古墳展示館 時 間 10:00~正午

対 象 50代以上

定 員 40名(申し込み先着順)事前申込みが必要です。

詳細は後日[広報はだの]等でお知らせします。

<第1時限目> 3月26日(土) 「秦野の昔話(仮題)」

講師：生涯学習課文化財班 櫛田和幸

<第2時限目> 4月予定 「矢倉沢往還と交通産業の発展(仮題)」

講師：生涯学習課文化財班 大倉 潤

<第3時限目> 5月予定 「曾屋水道について(仮題)」

講師：生涯学習課文化財班 霜出俊治

**20周年を迎えて** 当館は平成2年11月、郷土の文化財を未来に承継し、文化財への理解を深めるとともに、桜土手古墳群及び秦野市周辺の古墳と遺跡に関する資料の収集、保存、調査研究を行い、歴史に関する興味と理解を深め、地域文化の向上に寄与するために博物館活動を始めてから今年で20周年を迎えました。

開館以来市内での遺跡調査結果や市民の皆様のご二ズに合わせた、秦野の古代ロマンが広がる「春・秋の特別展」、郷土の先人が育んできた歴史を知る講座「ミュージアムさくら塾」、小中学生を対象とした「まが玉作り教室」、大人向け「土器作り教室」等県内唯一の古墳展示館としての特色を生かした事業を企画してまいりました。おかげさまで来館者の数は平成22年10月末で53万人を超えるに至りました。これからも、歴史の勉強に訪れる小学生から、郷土の歴史や考古学を学びながら充実した第2の人生を楽しまれる方々等、たくさんの皆様に満足して利用していただけますように、新たに30周年に向けて充実した事業を展開し、皆様に親しまれる展示館運営をしていくため、スタッフ一同精進してまいります。

**桜土手古墳展示館の紹介第3弾** 開館20周年にちなんで桜土手古墳展示館と公園の建設に携わった人たちの想いの続編を紹介します。

**常設展示室** 常設展示室は実物資料を中心とし、グラフィック、映像などを活用して、展示テーマである「桜土手古墳群と古墳時代」に基づいた展示を行っています。展示方法は展示部を壁側ではなく、中心部に配置し、土器などはケース等の中に収納せずに展示しています。自分とは関係をもたないガラスに隔てられた向こう側の世界という印象を与えずに、見る者が出土遺物とより近い距離で出逢うことができるようになっています。思い切った目線の展示ではありますが、入館者の方のマナーにやさえられ開館以来、まだ一度の事故も起こっていません。展示館は野外展示と室内展示の一体感を重要視していたのでそれを活かして行く事に方向を決定し、入口付近には桜土手古墳群で主に出土した遺物を広く包蔵していた、24号墳の出土遺物を象徴展示とすることにしました。窓ぎわの展示台には、副葬品を、また古墳の造営風景を一度に知ることのできる古墳造営模型、古墳群分布模型等が、屋外の保存古墳とともに見ることが出来ます。読む展示ではなく、見る聞く展示方法を取り、アニメーションを交えた映像での解説モニターと、そして広く桜土手を囲む神奈川県西部の古墳、横穴墓の紹介。300㎡と決して大きくはない常設展示空間の中で、野外展示をも取り込みながら、さまざまな質問に答えてくれる場でありたいと努力しました。



**ミュージアムプロムナード** 展示館地下の展示空間であるミュージアムプロムナードは、展示室・映像室の桜土手古墳群に関する展示から、保存古墳・復原古墳の屋外展示への接点及び散歩空間として設定した展示空間です。「原始古代の墓制」と「秦野の考古資料」の二つのテーマを持って展示しています。「原始古代の墓制」というテーマは、当館の基本テーマのひとつで、古代人の精神的な部分を考えようとするものです。考古学では、住居の跡やその出土遺物を調べることによって、古代人の生活の大きな部分はわかりますが、精神的な部分はよくわかりません。精神的なことがわかる数少ないものとして墓やそれと一体をなす祭祀遺跡があります。人間にとって死は避けることができなものであり、人を葬るにも、時代により民族によりそれぞれの形がありました。それらの墓をしらべることによって、それぞれの社会構造や、そこに生活していた人々の考え方を、ある程度知ることができます。墓制を通じて古代人の死生観を知り、彼らの精神生活を考えようとするものです。「秦野の考古資料」というテーマは、秦野市には現在200ヶ所に及ぶ遺跡が確認されており、数多くの調査が行われ、



**「原始古代の墓制」コナ**

今までに色々なことがわかってきています。遺構や、たくさんの遺物たちは、「秦野の考古資料」コナ話すことこそできませんが、その出土した状況や、一緒に地層から出土した物達で、様々なことを見る者に語りかけてくれます。それらの中から代表的なもの、各時代ごと、遺跡ごとにまとめて、遺構、発掘調査風景などの写真を織り混ぜたパネル展示と合わせ、わかりやすく解説しています。

またこの場所は、特別展、企画展の会場となるスペースでもあり、狭いながらも色々なテーマを取り上げ、ご好評をいただいています。



**<桜土手古墳展示館へのアクセス>**

- 小田急線秦野駅北口より徒歩20分
- 〃 バス秦12 秦野行「古墳公園前」下車 徒歩2分
- 〃 秦08 〃 「桜土手」下車 徒歩10分
- 小田急線秦野駅北口よりバス秦12 渋沢駅北口行「古墳公園前」下車 徒歩2分
- 〃 秦08 〃 「桜土手」下車 徒歩10分
- 入館無料 開館時間午前9時～午後5時(月曜日休館) 駐車場有

**桜土手古墳展示館だより .38号**

発行日 平成22年11月30日 編集発行 秦野市立桜土手古墳展示館

〒259-1304 神奈川県秦野市堀山下380-3

TEL 0463-87-5542 FAX0463-87-5794

URL <http://navi.city.hadano.kanagawa.jp/s-gakusu/bunkazai>

